

「日本の戯曲研修セミナー」in 東京 2021 《オンライン版》

FUKUDA YOSHIYUKI

福田善之 『オッペケペ』 を読む!



ディスカッション参加者・見学者募集!

福田善之(ふくだよしゆき)

1931年東京生まれ。東京大学仏文科卒。1945年、二度の空襲を生きのびる。作品『長い墓標の列』(‘57)、『遠くまで行くだ』(‘61)、『真田風雲録』(‘62)『オッペケペ』(‘62)など。『袴垂れはどこだ』(‘63)で岸田國士戯曲賞に選出されるが辞退する。

大河ドラマ『風と雲と虹と』を始め映画・テレビ・ラジオドラマの執筆も多数。また大河ドラマ、ウルトラマンシリーズへの出演も。1994年『壁の中の妖精』ほかで、紀伊國屋演劇賞・個人賞を、『私の下町-母の写真』で読売文学賞、読売演劇大賞優秀演出家賞、斉田喬戯曲賞を受賞。近作『猿飛佐助の憂鬱』(小説・戯曲)。第六代日本演出者協会理事長(2003年-2006年)。現、評議員。

新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、2021年の「日本の戯曲研修セミナーin東京」はオンラインでの開催となります。ですから東京とついていますが、インターネットに繋がっていただければどなたでも参加可能です。福田善之『オッペケペ』を題材に、参加者それぞれが戯曲への「問い」を持ち寄り、ディスカッションを通して、より深くより面白く戯曲に迫っていきます。時代の空気が急変するとき、演劇人がどう立ち振る舞うか? 『オッペケペ』はいまの時代に多くの「問い」を投げかけています。多くの方のご参加をお待ちしております。

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

オンライン版

オッペケペを読む!

[事前研修]

2022.1/21(金)・22(土)

2022.2/1(火) - 2/6(日)

[会場] Zoom

一般社団法人 日本演出者協会



文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

文化庁